

7 休日・休暇

(1) 年間休日日数(集計表 第7表-①)

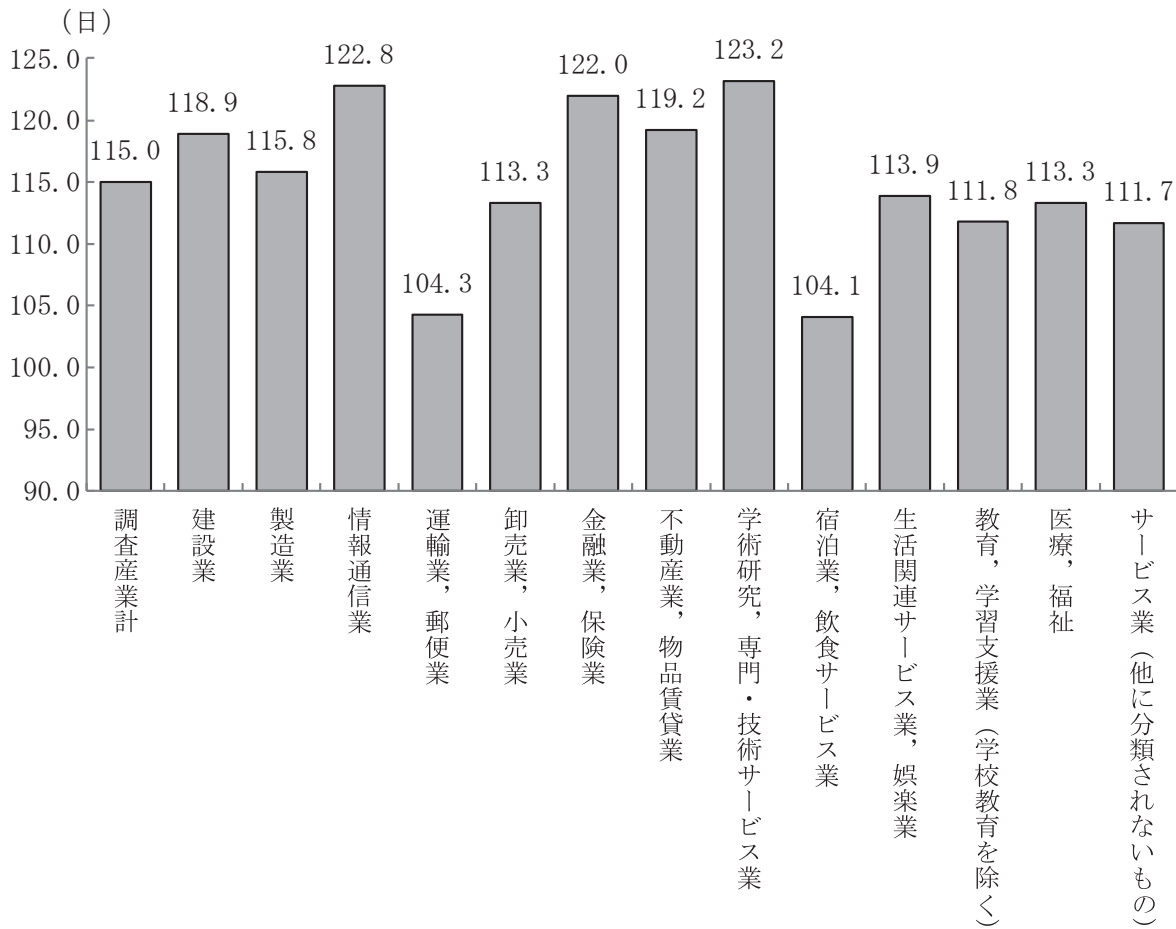
年間休日日数の平均は、115.0日であった。

産業別にみると、「学術研究, 専門・技術サービス業」が123.2日で最も多く、次いで「情報通信業」の122.8日となっている。

一方、最も休日が少ないのは「宿泊業, 飲食サービス業」で104.1日であり、次いで「運輸業, 郵便業」の104.3日となっている。

なお、集計企業のうち、年間休日日数を就業規則等で決めている企業は61.5%であった。

<図表7-1>年間休日日数

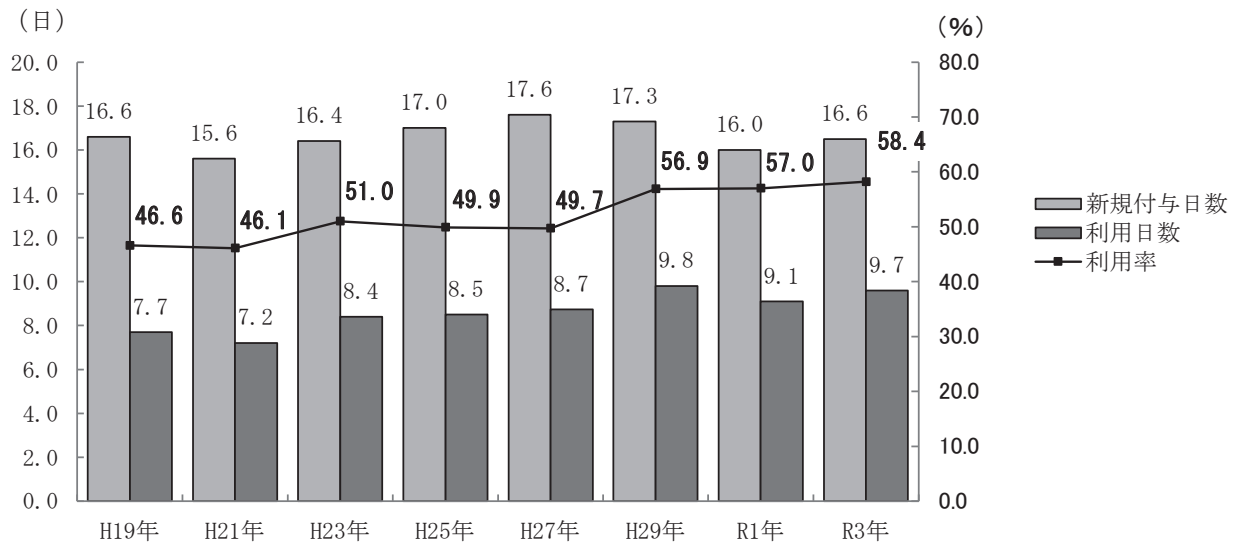


(2) 年次有給休暇の利用状況（集計表 第7表-②）

最近1年間の年次有給休暇の利用状況は、1人平均の新規付与日数は16.6日、利用日数は9.7日であった。利用率（新規付与日数に対する利用日数の割合）は58.4%となっている。

利用率を産業別にみると、最も高いのが「金融業、保険業」で67.6%、次いで「医療、福祉」の65.8%となっている。一方、最も低いのは「生活関連サービス業、娯楽業」の44.7%であった。

<図表7-2>年次有給休暇の利用状況の推移



<図表7-3>年次有給休暇の利用状況

